審査の流れ

① 質疑
各議員が、議案の賛成・反対の判断に活かすため個別の事業等の疑問点を確認する目的で質疑します。

② 総括的質疑
政策的に広い視点で市の考えを確認する目的で質疑します。

③ 自由討議
議員間で行う討議です。問題点を浮き彫りにしてさまざまな観点から討議します。

④ 討論
各議員が賛成・反対の意思を表明し、自分の考えへの賛同者を募る目的で行います。

⑤ 採決
①～④の質疑・討論を参考に「可決」か「否決」かを多数決で決めます。

①質疑・歳出

問 ふるさと納税推進事業の返礼品の分析は。
答 商品と業者との関わりについての詳細な分析はしていませんが、一業者に75%程が集まっており、全体の商品数が少ないことも問題になっています。

問 地域づくり懇談会からの補助申請状況と支援策は。
答 3自治会から申請があり、実施の予定です。活動推進のため支援策について検討します。

問 PTAと連携した地域づくりの展開は。
答 PTAの方々には地域清掃などさまざまな活動に参加していただいていますが、今後は地域づくりの担い手として推進策を検討します。

問 自主防災組織育成の取り組みは。
答 防災リーダーを育成し、地域で活動していただきます。

問 消防団員の充足率は年々減少傾向にあるが、今後の対策は。
答 消防団の定員数は420名ですが現状は334名です。今後も活動内容のPRを兼ねて団員の確保に努めます。

問 滝沢総合公園体育館改修の内容は。
答 31年度はボイラーの交換を実施しますが、アリーナ床の全面改修は財源確保も見越しながら対応します。

問 通学路の防犯灯の設置状況は。
答 防犯灯は自治会からの要請で設置しています。通学路は自治会をまたいでいることから、調整し設置しています。学校との連携については今後検討します。

問 小学校の補修要望状況は。
答 30年度は94件の要望箇所がありましたが実施できたのは8件でした。必要な箇所は適宜対応しています。

問 図書館の利用時間延長への対応は。
答 本市はビッグルーフ滝沢の開館にあわせているため月二回の休館で、週の開館時間合計で見ると県内図書館と同程度の開館時間となっています。時間延長については今後検討します。

問 ごみの減量化と資源化策は。
答 ストックヤードの設置を推進し資源化に取り組むことは減量化につながります。ごみ集積所をストックヤードの代わりに活用し資源化に取り組んでいる自治会もあり、今後もさまざまな手法を模索し検討します。

問 福祉バスの在り方と今後の活用は。
答 福祉バスは睦大学の通学で活用されているため、交通政策の中での検討は難しいです。今後も関係各課で協議し検討します。

問 新規事業である保育対策総合支援事業の内容は。
答 保育士の確保に向け、アパート等の家賃を補助する事業です。

問 健康づくりはどのように推進するのか。
答 健康づくり宣言の懇談会を開催するとともに推進プロジェクトチームを結成し、宣言参加団体や、連携協定を結んだ企業と新たな事業展開を図る考えです。

問 介護予防に対する取り組みは。
答 自治会では、いきいきサロンに取り組んでおり、交流機会の提供に効果がみられます。

問 農産物地域ブランド化推進事業の内容は。
答 市内で生産される特徴ある農産物の推進と、滝沢産の農産物の販路拡大を図ります。

問 特産品開発事業の内容は。
答 地場産品の研究、開発をめざし、今後も推奨、開発に積極的に取り組みます。

問 観光振興策の取り組みは。
答 チャグチャグ馬コの行進路をビッグルーフ滝沢前を通るように変えたところ、観光客数が増えたことから今後もPRに努めます。また、岩手山など地域資源を活かした情報発信に努めます。

問 交通政策の取り組みと推進策は。
答 バス事業者の運転手不足はありますが、利用促進の観点と中心拠点構想とともに、交通結節点の機能強化と併せ検討します。

問 巣子駅駐車場の利便性向上策は。
答 パークアンドライドによる利用者の方々から好評ですが、有料化も含めさまざまな観点から検討します。

問 空き家対策についての考えは。
答 所有者の責務もありますが、新たな国の利活用対策もあり周知に取り組みます。31年度は、空き家対策の市町村計画に着手し対応します。

問 道路整備の取り組みと対応策は。
答 毎年500件を超える苦情、相談がありますが、状況を確認し適宜対応します。

②総括的質疑

問 財政状況は非常に厳しい状態であり、今後も大幅な増収は見込めないが今後の見通しは。
答 31年度も基金を3億円取り崩します。税収の伸びが少ない中で公債費は増えていますが、積み戻しを図りながら運営します。

問 総合計画に「地域の潤いにつながる観光資源の発信」とあるが、それに伴う人材育成策は。
答 地域に眠っている観光資源をSNSなどを活用し情報発信に努めるとともに、その観光資源が心の潤いにつながるように、住民も職員もそれぞれのステージに応じた活動を進めます。

問 避難所に指定されている小中学校や公共施設の整備について、市と施設管理者の協議が必要と考えるが対応は。
答 地域防災計画の中で27施設、約1万2千人の避難者を想定し検討していますが、バリアフリー化やトイレの洋式化などを含めさまざまな観点から避難所、公共施設の整備について今後検討します。

問 高齢者などの交通弱者対策は、地域公共交通の中で対応を検討するべきでは。
答 住民ニーズやこれまでの調査も含め再検討し、現在の公共交通や福祉バスの運行も含め、状況を見極めながら交通弱者対策を検討します。

問 自主財源の確保に向けた産業振興や企業誘致の対応策は。
答 イノベーションパークの企業誘致を進めながら、中心拠点の開発については来年3月手続き完了の目安となっており、実際の開発はそれ以降となります。滝沢中央スマートIC周辺の産業用地開発は、今後さまざまな手法を検討します。

問 ふるさと納税に関し、今後は戦略的に対応する担当課が必要と考えるがその対応策は。
答 現在は財務課が所管し、返礼品については商工観光課が担当しています。今年の6月にふるさと納税に対する地方税法も変わることから、今後対応を検討します。

問 健康づくりによる地域づくりの推進策として「チャレンジデー」に挑むにあたり、総括的な所管課が必要と考えるが対応策は。
答 後期の基本計画において健康づくり政策課が設置されることから、体制強化に取り組み、各担当部署横断的に政策を推進します。

③自由討議

これまで地域交通会議も設立され、これからの市内の公共交通の新たな展開が期待されてきましたが、10年以上経っても現状は遅々として進んでいません。

交通過疎地帯の共通した課題でもあり、もはや福祉バス、タクシーチケットも含め、交通体系を民間バスに頼るのではなく他の手段を検討することが必要です。

姥屋敷、柳沢地区ではバスも運行していない現状の中で、高齢者への対応も見えてきません。

一方、全国に目を向けるとデマンド交通の運用の難しさもあります。しかし、地域住民のニーズがあることは確かです。

市当局の早期対応を求めます。

④討論

【反対】
国民健康保険特別会計
桜井博義議員
（日本共産党）

反対理由の1点目は、歳入では基金からの繰り入れを今後増やす計画ですが、一方の積み立てに回す予算を見ていないのは不自然です。この数年間の決算でも積み立てに回していることからもう少し現状に合わせた予算にすべきです。

2点目は短期保険証、資格証明書とも交付状況が依然として多いことです。一方の収納率は上昇していますが、安心して医療にかかる制度としての皆保険を崩すようなことは問題と考えます。

3点目は今後、今の基金を取り崩しながら収支のバランスを保つことにしていますが、この数年の決算では国の財政支援以上に基金として積み立てています。

従って、適正に基金を使うことにより、一歩進めて子どものいる世帯の均等割を軽減又は廃止することは十分可能と考えます。

本制度の構造的問題を解決してすべての市民が安心して医療を受けられる制度に改善することを求め、反対します。

【反対】
介護保険特別会計
仲田孝行議員
（日本共産党）

予算額は、30年度は37億2千万円、31年度は37億6千万円と、漸増していますが、歳入は第一号被保険者保険料が9億8800万円と前年比5・3%増えており、被保険者の負担割合が大きくなっています。歳出では保険給付費が34億3千万円と前年比0・9%増となっていますが、地域支援事業費が1億9600万円と同7%減で、基金積立金を5100万円と前年比3・4倍化しています。

この予算案は、政府が国民の負担増や給付抑制をさらに進めながら「全世代型」地域包括ケアを推進して、社会保障への国の責任を後退させていく政策を反映したものと言えます。

「保険あって介護なし」の状況が続いています。介護保険への国費の大幅な投入は当然ですが、本市として独自の保険料の減免、利用料の補助、介護職員への処遇改善など手立てを打つべきではないでしょうか。

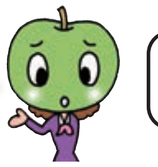
以上で反対討論といたします。

⑤採決

31年度当初予算案は、全て原案のとおり可決されました。

31年度 滝沢市の台所事情

31年度の予算は、歳入を見てみると「基金（貯金）の取り崩し」「新たな借り入れ（借金）」などにより、前年度と同様に厳しい財政状況が継続しています。そして、歳出でも「民生費」が前年度より 4.5%、額で3億3272万円伸びており、全体の総予算の43.5%を占めています。また、滝沢中央小学校、滝沢中央スマートICの整備が終わり「教育費」「土木費」合わせて約22億円減りました。



●貯金から3.3億円の取り崩し
●貯金残高は市政施行後の過去最低額に!!

収入

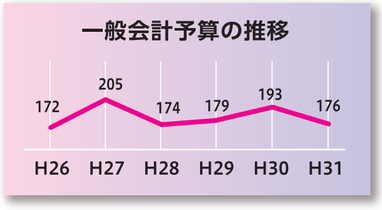
市税	地方交付税	国庫支出金	県支出金	その他	借金＋貯金切り崩し
約52億円（前年比2.7%増）	約38億円（前年比6.0%増）	約34億円（前年比17.4%減）	約15億円（前年比4.8%増）	約25億円	約12億円

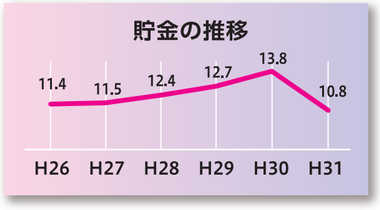
支出

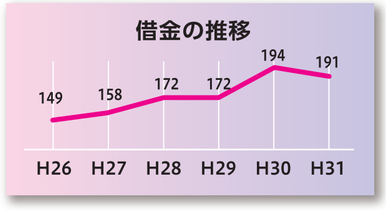
民生費	総務費	衛生費	土木費	教育費	その他
約77億円（前年比4.5%増）	約20億円（前年比10.8%増）	約17億円（前年比3.1%減）	約16億円（前年比27.6%減）	約16億円（前年比50.3%減）	約30億円（うち借金の返済約14億円）

【主な普通建設事業】
- ●巣子野沢線道路改良舗装事業
- ●畜産試験場柳沢線道路改良舗装事業
- ●保育所等整備事業（川前保育園改築、つばめ幼稚園認定こども園化増築）
- ●小学校屋根・外壁等改修事業（鵜飼小学校）

【新規事業等】
- ●保育対策総合支援事業（保育士宿舎借上げ支援）
- ●子ども医療費給付事業（対象範囲の拡大）
- ●乳幼児保健事業（新生児聴覚検査の公費助成）
- ●向新田線道路改良舗装事業







単位は全て（億円）